

令和3年度 飯塚市事務事業評価シート

令和 4 年 5 月 23 日 作成

|       |          |         |         |         |
|-------|----------|---------|---------|---------|
| 事務事業名 | 姉妹都市交流事業 | 外部評価の状況 | 事務事業No. | 581 - 2 |
|       |          | なし      |         |         |

1. 基本情報

|             |        |         |              |               |       |       |
|-------------|--------|---------|--------------|---------------|-------|-------|
| 担当部         | 担当課    | 担当係     | 作成者職名        | 作成者氏名         | 所属長職名 | 所属長氏名 |
| 経済部         | 国際政策課  | 国際人材育成係 | 係長           | 渡邊 里美         | 課長    | 深江 美恵 |
| 施策体系        | 総合計画   | 政策      | 5            | 教育・文化         |       |       |
|             |        | 施策      | 8            | 国際交流・多文化共生の推進 |       |       |
|             |        | 基本事業    | 1            | 国際交流の推進       |       |       |
|             | その他の計画 | 個別計画    | 国際都市いづつか推進計画 |               |       |       |
| 根拠法令・条例・要綱等 | なし     |         |              |               |       |       |
| 事業開始年度      | 平成26年  | 事業終了年度  | 継続           | 事務事業類型        | ソフト事業 |       |
| 実施手法        | 全部直営   | 補助金等の支給 | なし           | 実施計画期間        | なし    |       |

2. 事務事業の概要及び目的（決算成果説明書と運動）

|    |   |  |  |  |  |  |
|----|---|--|--|--|--|--|
| 概要 | 米国サニーベール市と平成25年12月に友好交流関係協定、平成28年12月に姉妹都市協定を締結し、将来世代の人材育成を図ることを目的に、学校間交流やサニーベール市の中高生を受け入れることでホームステイや学校訪問による異文化交流を実施している。令和元年度には大人の交流事業を実施することで交流を拡充できたが、新型コロナウイルス感染症の影響により実際の往来ができない状況においては、オンラインを活用した交流を実施することで継続した交流を行っている。 |  |  |  |  |  |
| 対象 | 働きかける相手・もの  | 飯塚市民、サニーベール市民、両市内の関係部署                             |  |  |  |  |
| 手段 | 方法・働きかけ（活動指標）   | サニーベール中高生や大人の受入れ、オンライン（フェイスブックやインスタグラム等）による交流      |  |  |  |  |
| 意図 | 対象をどのようにしたいか（成果指標）  | 姉妹都市の認知度向上、国際感覚の醸成、異文化コミュニケーション力の向上に繋がる交流市民の数を増やす。 |  |  |  |  |

3. 活動指標（決算成果説明書と運動）

| 指標名                   | 単位 | 指標の説明（算式等）                | 前年度実績 | 本年度実績 | 次年度見込 |
|-----------------------|----|---------------------------|-------|-------|-------|
| 交流事業の開催回数             | 回  | 歓迎レセプション、オンラインの回数         | 5     | 3     | 5     |
| 広報や掲示物の掲載             | 回  | 広報（市報、市ホームページ等）や掲示物等の掲載回数 | 6     | 10    | 8     |
| サニーベールからの受け入れ回数及び訪問回数 | 回  | 中高生、大人、事業者等の訪問及び受け入れ回数    | 0     | 0     | 2     |

4. 成果指標（決算成果説明書と運動）

| 指標             | 単位  | 達成目標値  | 前年度実績 | 本年度実績   | 次年度見込   |
|----------------|-----|--------|-------|---------|---------|
| 事業に参加した市民      | 人   | 170    | 170   | 60      | 170     |
|                | 方向性 | 達成目標年度 | 実績    | 37      | 19      |
|                | 増加  | 毎年度    | 達成率   | 21.76%  | 31.67%  |
| 受入れ学校数         | 校   | 4      | 4     | 0       | 4       |
|                | 方向性 | 達成目標年度 | 実績    | 0       | 0       |
|                | 維持  | 毎年度    | 達成率   | 0.00%   | #DIV/0! |
| サニーベール市からの参加者数 | 人   | 30     | 25    | 30      | 25      |
|                | 方向性 | 達成目標年度 | 実績    | 31      | 8       |
|                | 増加  | 毎年度    | 達成率   | 124.00% | 26.67%  |

5. 事務事業実施にかかるコスト（決算成果説明書と運動）

|                                |                     |                 |              |                |              |       |
|--------------------------------|---------------------|-----------------|--------------|----------------|--------------|-------|
| 予算科目・事業                        | 会計 1 一般会計           | 款 2 総務費         | 項 1 総務管理費    | 目 5 企画費        |              |       |
|                                | 大 4 国際化推進事業費        | 中 8 姉妹都市交流事業費   | 他 0 事業       |                |              |       |
| 投入人員<br>(当該事務事業に対して1年間に投入した人員) | (R2以降)              | 前年度実績実績(千円)     | 本年度実績(千円)    | 増減理由(10%以上の場合) | 次年度予算(千円)    |       |
|                                | 正職員                 | 0.40 人 3,152    | 0.40 人 3,279 | 該当なし           | 0.35 人 2,869 |       |
|                                | 任期付職員(保育士)          | 0.00 人 0        | 0.00 人 0     |                | 0.00 人 0     |       |
|                                | 任期付職員(CW・水質)        | 0.00 人 0        | 0.00 人 0     |                | 0.00 人 0     |       |
|                                | 再任用フル               | 0.00 人 0        | 0.00 人 0     |                | 0.00 人 0     |       |
|                                | 再任用短                | 0.00 人 0        | 0.00 人 0     |                | 0.00 人 0     |       |
|                                | 会計年度 1級フル           | 0.00 人 0        | 0.00 人 0     |                | 0.00 人 0     |       |
|                                | 1級パート               | 0.00 人 0        | 0.00 人 0     |                | 0.00 人 0     |       |
|                                | 2級パート               | 0.70 人 1,782    | 0.60 人 1,580 |                | 0.60 人 1,580 |       |
|                                | 人件費計(A)             | 4,934           | 4,859        |                | 4,449        |       |
|                                | 事業費                 | 直接事業費(B)        | 98           |                | 170          | 831   |
|                                |                     | 総事業費(A+B)       | 5,032        |                | 5,029        | 5,280 |
|                                | 直接事業費のうち<br>の主な歳出内訳 | 報償費             | 78           |                | 33           | 200   |
|                                |                     | 需用費             | 2            |                | 118          | 388   |
|                                | 財源内訳                | 使用料・手数料(受益者負担分) | 0            |                | 0            | 0     |
| 国・県支出金                         |                     | 0               | 0            |                | 0            |       |
| 市債                             |                     | 0               | 0            | 0              |              |       |
| 一般財源                           |                     | 5,032           | 5,029        | 5,280          |              |       |
| その他(ふるさと応援基金繰入金)               |                     |                 |              |                |              |       |

| 6. 事務事業の事後評価★              |              |       |  |
|----------------------------|--------------|-------|--|
| 評価視点                       | 評価項目         | 評価    | 評価の理由、または認識している課題を記載   |
| 妥当性<br>評価<br>(上位施策/<br>成果) | 市の関与の妥当性     | 妥当でない | 交流の実施は非営利団体等の民間組織との連携により実施できる余地はあるが、地域に受託可能な機関がなく、今後運営可能な機関を組織し委託することは難しい。                         |
|                            | 目的の妥当性       | 妥当    | 国際都市いづか推進計画に基づき、国際交流を行うことで多様な文化を理解し受け入れることができる市民意識の醸成を推進している。                                      |
|                            | 対象(受益者)の妥当性  | 妥当    | ホストファミリー及びオンラインの参加者は公募しており妥当である。   |
| 効率性<br>評価<br>(活動量/<br>コスト) | コスト削減・コスト効率化 | 余地なし  | 非営利団体等の民間組織との連携により実施することで、市と民間との役割分担が明確になり事務の省力化を図ることができるが、運営可能な機関がない。                             |
|                            | 負担割合の適正化     | 適正    | 本市のグローバル人材育成研修事業におけるサニーベール市でのホームステイに伴う経費負担はなく、同様に来飯するサニーベール関係者の受益者負担は徴収していないため、受益者負担を取らないことは適正である。 |
|                            | 手段の最適性       | 最適    | 国際都市いづか推進計画に基づき、市の国際化と多文化共生の地域づくりを目的としているため、姉妹都市協定により特定の市と継続した交流を行うことは草の根の交流を広げる上でも最適な手段である。       |
| 有効性<br>評価<br>(成果/<br>活動量)  | 目標達成度        | 達成    | 新型コロナウイルス感染症の影響によりサニーベール市からの来飯がなかったが、オンラインを活用することで、継続して交流を実施することができた。                              |
|                            | 上位施策への貢献度    | 貢献できた | オンラインを活用した交流事業により市の国際化と多文化共生の地域づくりに貢献できた。  |
|                            | 事業継続の有効性     | ある    | 姉妹都市協定により事業を継続することで、市の国際化と多文化共生の地域づくりを推進することができる。  |

### 7. 前年度評価時の計画と実績

| 前年度評価★ |                  | 前年度記載した改善策(課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策)★ |   |
|--------|------------------|--|---|
| 評価区分   | 方向性              | 次年度以降に予算(コスト)を必要とせず、直ちに実施できる改善策          | サニーベール姉妹都市協会と定期的にオンライン会議を実施し、継続した交流の実施について協議する。                           |
| 一次評価   | ②コストは現状維持し、成果を拡充 | 次年度以降に予算(コスト)増を必要とし、中長期的に実施する改善策         | サニーベール姉妹都市協会から寄贈された情報機器を利用して、動画等を作成することで積極的に広報活動を行う。オンラインを活用した交流の機会を創出する。 |

前年度改善策に対する実績 ★ ※上記の改善策に対して今年度実施できたこと、などを記入

毎月1回以上でオンライン会議を行い、様々な交流の形について協議を行うことで、新たに市民団体同士の美術交流と中高生のオンライン交流を実施することができた。令和2年度末から開始した図書館同士の交流により、令和3年度に両図書館において姉妹都市を紹介するコーナーが設置された。姉妹都市紹介の動画等の作成までには至らなかった。

### 8. 今年度評価における成果と課題(決算成果説明書と連動)★

【成果】新型コロナウイルス感染症の影響によりサニーベール市からの来飯がなかったが、両市の図書館に姉妹都市を紹介するコーナーが設置され多くの市民の目に触れる機会ができた。両市の美術協会の有志により共同作品が完成し、市民主体の交流が広がってきている。また、実際の往来がない中でも中・高生を対象にオンライン交流会を実施し、市の国際化と多文化共生の地域づくりに貢献できた。

【課題】姉妹都市交流事業やサニーベール市に興味関心を持ってもらうため、交流の回数を増やし、広報を積極的に行う必要がある。新型コロナウイルス感染症の影響により来飯ができなくても、多くの市民が参加できるようにオンラインを活用した交流の充実を検討する必要がある。

### 9. 今後の事業の方向性と改善策

| 成果の方向性 | 拡充<br>現状維持<br>縮小<br>休・廃止 | コスト投入の方向性 |    |      |      | 評価区分         | 事務事業の方向性 |
|--------|--------------------------|-----------|----|------|------|--------------|----------|
|        |                          | ④         | ②  | ①    | ③    |              |          |
|        |                          | ③         | ⑤  |      | 一次評価 | ①コスト・成果ともに拡充 |          |
|        |                          | ⑥         |    |      | 二次評価 | ①コスト・成果ともに拡充 |          |
|        |                          | ⑦         |    |      |      |              |          |
|        |                          | 休・廃止      | 縮小 | 現状維持 | 拡充   |              |          |

次年度以降の改善策(課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策)★

コスト(人・予算等)を必要とせず、ただちに実施できる改善策  
令和5年度に友好交流関係協定の締結から10周年を迎えるため、毎月1回のオンライン会議を継続して行い、両市の状況についての情報共有や各種交流の在り方について協議を行う。

コスト(人・予算等)を必要とし、中長期的に実施する改善策  
飯塚国際交流推進協議会の加盟団体や国際交流に関心がある市民をボランティアとして呼びかけ、姉妹都市交流事業に関わる人口を増やしていく。令和4年度は、6月にサニーベール市の来飯を予定しているため、予算と成果を拡充する(サニーベール市では前年度の9月から募集を開始)。令和5年度に友好交流関係協定の締結から10周年を迎えるため、動画作成や市内でのイベント等を計画する。

|        |  |
|--------|--|
| 評価変更理由 | 一次評価のとおりとする。10周年記念に向けたコスト拡充と考える。創意工夫を凝らしたイベント等の企画をお願いしたい。他課との連携等、次の方策も考えること。 |
|--------|--|